

製品名: LI-カドヘリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13302**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	99kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH17
別名	CDH17; Cadherin-17; Intestinal peptide-associated transporter HPT-1; Liver-intestine cadherin; LI-cadherin
遺伝子 ID	1015.0
SwissProt ID	Q12864
免疫原	抗血清はヒト CDH17 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

背景

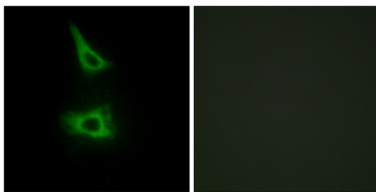
この遺伝子は、カルシウム依存性の膜結合糖タンパク質をコードするカドヘリンスーパーファミリーのメンバーです。コードされる

タンパク質はカドヘリン様で、7つのカドヘリンドメインを含む細胞外領域と、保存された細胞質ドメインを欠く膜貫通領域から構成されています。このタンパク質は消化管および膵管の構成要素であり、多くの医学的に重要なペプチド系薬剤の経口吸収の第一段階において、腸管プロトン依存性ペプチドトランスポーターとして機能します。また、肝臓および腸の形態学的構成にも関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009年1月],function:カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞を接着する際に、カドヘリンは優先的にホモフィリックな方法で相互作用するため、カドヘリンは異種細胞型の選別に寄与している可能性があります。 LI-カドヘリンは、肝臓と腸の形態学的組織化に関与している可能性がある。腸管ペプチド輸送に関与する。類似性: 7つのカドヘリンドメインを含む。組織特異性: 消化管と膵管で発現する。腎臓、肺、肝臓、脳、副腎、皮膚では検出されない。、

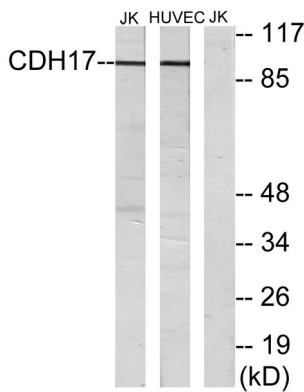
研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

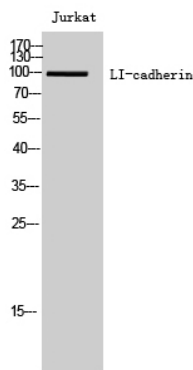
画像データ



CDH17抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CDH17抗体を用いた Jurkat 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LI-カドヘリンポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析